



近鉄塩浜駅西 駐輪場工事(2月14日撮影)

まちづくり構想

近鉄塩浜駅 駅西駐輪場の竣工間近

令和元年に塩浜地区まちづくり構想を市に提出以来、近鉄塩浜駅周辺の再開発を重点に取り組んできました。

特に駅前道路の朝夕の混雑は、目を見張るほどです。また、自転車通学・通勤の自転車駐輪場は乱雑でいろいろの方から苦情が寄せられており、企業・学校関係者と話し合い、整理整頓・指導・改善策を取ってきましたが思うような結果も出ず現在に至っていました。

今回、駅西の駐輪場の整備が始まり自転車288台、原付10台収容の駐輪場が3月中旬には完成予定です。

しかし、東側についてはいろいろの問題が山積しており、今後市担当部署と話し合いながら問題解消に努めます。塩浜駅南側の踏切は、凹凸がひどく買い物帰りにタマゴが割れる苦情が従来より多々あり、近鉄に改修要望してきましたが、今回、松阪行方面の下り線の改修工事が完了しました。全線完成はできませんでしたが毎年順番に改修するとのことでした。

塩浜地区連合自治会として、住みよい町づくりをめざし出来ること、出来ないことがあるかも知れませんが各町の要望に一生懸命耳を傾け、市担当部署に我々の想いが届くように要望していきたいと思えます。



塩浜地区連合自治会
会長 石田 清延

編集発行：塩浜地区社会福祉協議会

塩浜地区の人口 総数5,813人/男2,946人/女2,867人/世帯数3,235世帯 (2025年2月現在)



塩浜地区HP



塩浜小学校 六年 北川 友喜

私は、もうすぐ中学生になるので、家族と一緒に制服を見に行きました。私は、スカートがあまり好きではないので、前からズボンがいいなと思っていました。

見に行ってみると、女子の制服の中に、共通のズボンの制服がありました。これがいいなと思っていて、店員さんが来てくれて、「女子用ズボンの制服を選ぶ人は、二割くらいいますよ。指定の制服を買って、後でズボンを買う人もいます。」と言っていました。お母さんやお父さんにも、「これでいいの?」「女子の指定の制服がグレーだから、目立つと思うよ。」と言われました。

夜だったこともあり、家族で話し合い、一旦家に帰って考えてみることにしました。私は、これがいいと思っ

ていても、夜だったこともあり、家族で話し合い、一旦家に帰って考えてみることにしました。私は、これがいいと思っ

大好き 塩浜!

と教えていただきました。しかし、そのことを伝えても、「祭りには参加しない。」とおっしゃったのです。

それから二年、私は中学三年生になり、太鼓も最初よりも上達し、周りの人に「上手になっただね」と褒めてもらえることが増えていきました。しかし、いつも師匠からもらえる点数は、七割を超えることができませんでした。夏になり、本番まであともう少しというとき、師匠は、練習には来なくなりました。

ある日、師匠のお兄さんから伝えられたのは、師匠が臍臓が



みんなに合わせて選んでしまう人が、少なくともいるということに気づきました。

これがいいと思っでも、自分の好きなほうが少数派だったら、一人が嫌だから人に合わせてしまうことがよくあると思います。今の時代「ジェンダー平等」を目指していても、他人の意見や思い、考えでその人の思いを消してしまっているかもしれない。差別がなくなっても、人と合わせてしまっでも好きなほうを選べないことがあるかもしれません。

私は数か月前、国語の時間にSDGsの学習をしました。十七の目標のうち、私は「ジェンダー平等を實現しよう」について調べました。そして、「LGBTQ」について知りまし



人権作文 校内発表会

性も好きだったり、自分が認識している性別が生まれたときの性別と違ったり、性別を決めていなかったりわからなかったりする人のことです。これを知って、もしそういう人がいたら、そのことをわかってもらえないと苦しいし、生きづらいと思います。そのため、このような人が何を思っでも、何をしたいでも誰も気に留めず、わかってもらえない社会になるといいと思います。

私は、最終的にズボンの制服を選びました。中学校の制服を選ぶ場面でも、もし私と同じような人がいたら、何事も人に左右されずに好きなほうを選んでほしいです。そうではなくても、誰がズボンやスカートを

はいていても、気にしないしてほしいです。人それぞれの気持ちを持って生きていけるように、自分の気持ちを大切にしたいです。

んであること、そして、長く持つても年内しか生きられないということでした。私たちは、師匠に最後の祭りになるかもしれないから、祭りに一緒に参加したいと何度もお願いをしに行きました。しかし、「参加しない」という意思は変わりませんでした。そんな中で迎えた祭当日も、師匠は、様子を見守っているだけで参加はしませんでした。一ヶ月と少しがたった頃、祭りのシーズンを見守り、師匠は息を引き取りました。

その後、私は、以前よりも深く「障害」について考えました。今回の場合、障害者に対して何か差別的なことを行っているのではない、自分が障害者だから

と、身を引いていました。私は、障害を持つている方が自分分は障害者だからと思っ、先入観のレンズで自分を見ているのではないかと思っました。その先入観を持つてしまったというのが悪いというのではなく、そうならない社会を、私たちはつくっていかねばなりません。

先入観を持つことで、自分の趣味、やりたいことをできず、自分の可能性を狭めているのではないかと思っました。一人一人が、平等に人権を持つていると誇りに思っ必要があるのでは

ないでしょうか。確かに、今回であれば、獅子舞は神聖なものですが、障害とは関係ありません。獅子舞はその動作さえできれば、行えるものです。障害を持っていて、女性だからといい出来ないわけではありませんが、だれでも参加できるのです。今の世界には、障害のある人が自分に対して持つた先入観のレンズで、自分のやりたいことを自分で制限してしまっっている人もいるのではないのでしょうか。そして、そんな人に対して、私たちは気づくことができているのでしょうか。自分で持つてしまっただけ先入観のレンズというのは自分でしか、割ることができません。しかし、割るための道具にはなれるはず

です。障害を持つていない人も普段の生活で、自分に対して先入観のレンズで見えてしまっっている人はいませんか。自分や相手を持つた先入観のレンズは、ただのガラスにすぎません。割ってしまえば、たとえ形が変わっしまっでも可能性を實現する方法はあるのです。これからは、先入観のレンズを持つていくのではなく、自分がどう生かしていくのか考えることが必要です。誰もがそのレンズをはずせる社会を目指していききたいと思っます。



塩浜中学校 三年 今村 由奈

「障害」この言葉を聞いて皆さんは何を思っのでしょうか。逆に、障害を持つている方は、障害を持つていることに対してどう思っているのでしょうか。今回後者に目を向けて考えてみました。

私は、実際に障害について考える機会がありました。私は、小さい頃から獅子舞に参加してました。小学五年生のとき、コロナウイルスにより活動を休止せざるを得ない状況になりました。中学一年生のとき、やっと活動を再開できることになり、「獅子舞ができる」とうれしく思っ、練習に参加しました。しかし、私は違和感を覚えました。何か違う。よく考えてみると、いつも太鼓の場所に座っていた師匠となる方がいないということに気づきました。



師匠は、休止中に脳梗塞になっしまっ、右足、右手が不自由になっしまったのです。幸い利き手であった左手は動かせるものの、以前のように叩けなくなり、他の人が叩いていたのです。復活後、私は口取りの指導をしてしまっましたが、本番の前になり、「太鼓をやってみないか」とお話をいただき、太鼓を叩くことになりました。そのとき師匠に片手で叩き方、リズムを教えていただきました。そのおかげで、本番は何とか乗り切ることができました。師匠は本番では、叩きませんでした。私は、

「以前とほぼ変わらないリズムで叩くことができるのに、なぜ叩かなかったのですか。」と尋ねました。すると師匠は、「私は、障害を持つていて片手でしか叩けません。私は参加したいのですが、神の使いになり、神聖な行事を行うのに私はできません」とおっしゃいました。なぜ障害を持つた方は、参加してはいけないのだらうと思っ、なんだか複雑な気持ちになりました。私は気になり、神主さんに聞いてみると、

「障害者だからといい、やってはいけないことはない。」

水沢小学校とオンライン交流!

塩浜小学校では五年生が、水沢小学校の五年生とオンラインでつながり、それぞれの地域のことを紹介しあう学習交流会を行いました。

たくさんある地域自慢の中から、何を紹介するかを話し合い、グループに分かれて準備を進めてきました。

学校紹介では、校庭にある『みいつけたの森』のこと、学校自慢の展望台から見えるコンピナートや鈴鹿川など景色のこと、そして、ボランテニアの方と取り組むキッズ農園の野菜の苗植えや収穫体験について紹介しました。また、四日市ぜんそくに関連して、本校にあるうがい場では、当時の子どもたちが一日六回うがいをしていたこと



「みいつけたの森」雪景色



もスライドにしました。その他、鯨船と獅子舞、塩浜児童館のイベントのことなど、子どもたちの大好きな地域の行事についても紹介しました。それぞれの話題をクイズにすることで、水沢小学校の子どもたちにもしっかりと覚えてもらえたいと思っます。交流会を終えて、子どもたちは緊張しながらも、相手に伝えるようにと、みんなで練習を重ねてきた成果を発揮できたことに喜んでいました。新しい出会いと経験を、次の活動に活かしていきたいと意欲的な五年生にご期待ください。

地域の話題



企業ふれあい
立て干し



塩浜地区
文化祭



農楽隊



鯨船



お月見フェスティバル

人権啓発



展示(児童館)



絵手紙



人権
コンサート



人権ポスター展示(塩浜小学校6年)



百歳体操

CTYから取材を受ける



南部ブロック
ポッチャ大会



(スポーツ推進委員)



敬老会



90歳代も参加!



塩浜消防分団
操法大会



民生・児童委員によるクリスマス飾付け



(塩浜駅連絡通路)

防災協出前講座
塩小防災授業



塩浜駅南側踏切改修工事



完了

黄綬褒章受賞して



藤原工業株式会社
代表取締役
藤原 和彦

日頃は、塩浜地区の皆様方には心温かいご指導ご厚情を賜り、誠にありがとうございます。さて、私こと、令和六年秋の褒章に際し、黄綬褒章の受章の栄に浴しました。当社は、戦後すぐに創業し、今に至るまで塩浜地区に本社を構えております。私は、県立総合塩浜病院（現在のヘルスプラザ）で、昭和37年に生まれました。藤原工業の三代目として、管工事業一筋に従事し、地域社会の発展を願い、空調・衛生設備を多くの建築物に施工し、地元の皆様様に快適な空間を提供してまいりました。過去に公害を経験したこの地区に長年立地しておりますので、その歴史的背景を社内でしっかりと共有しつつ、地域住民の皆様方とともに歩み、成長してまいりました。この度、石田連合自治会長と相談させていただき「豊かでさわやかな町づくり」の一助となればと、公共施設を中心に、地区各所に胡蝶蘭を贈呈したところ、大変よろこんでいただきました。この業界は、カーボンニュートラル達成にも重要な役割を担っています。今後、ますます技術力を高め、業界の魅力を伝え、次世代で活躍する人材を育て、地域の未来に貢献し続けられるよう努めて参ります。この榮譽に忝ることなきよう一層精進する所存でございますので、今後とも変わらぬご厚誼とご叱責を賜りますようお願い申し上げます。



ビブリオバトル全国大会出場



塩浜中学校
二年
小春 大畑

私がビブリオバトル三重県大会を勝ち抜くために頑張ったことは2つあります。

1つ目は、「普段から本番を意識して練習すること」です。いざ発表すると、練習よりも本番のほうが緊張して雑念が入りやすくなるからです。なので、普段の練習から緊張感のある発表をすることを意識しました。

2つ目は、「ジェスチャーをたくさん使うこと」です。人に何かを伝えるときに、言葉だけではなく、ジェスチャーを付け加えることで、より、伝わりやすくなるからです。そして、これは私の1番の課題でもあったので、普段の授業で発表したり、意見を交流したりするときに使って、ジェスチャーが自然に出来るようになるように意識しました。

全国大会では、さらにレベルの高い参加者の人たちと戦うことになりました。しかし私は、人の発表を気にするのではなく、自分らしく発表をして、このめったにない機会を楽しみたいです。そのためには、私が紹介する「ライオンのおやつ」という本をより理解して、練習に向き合って、本番に向けて頑張ります。ビブリオバトルは「本を通して人を知る」、「人を通して本を知る」ということを大切にしています。なので私はもちろん、優勝をすることも目標にしていますが、自分の発表を聞いて一人でも多くの人が、「本って面白い!」と思ってもらえるように、他の人の発表を聞いて自分が「やっぱり本っていいな」と思えるように、全国大会に臨んでいきたいと思っています。

※ビブリオバトルとは…参加者がおすすめの本をプレゼンテーション形式で紹介し、一番読みたくなった本を決める書評合戦です。

国民スポーツ大会強化選手に選出されて



高田高校
一年
今村 梓沙

私は中学生の時にバレーボールを始めました。更なる上達のためにクラブチームに入り

三重県選抜（JOCジュニアオリンピックカップ）に選んで頂きました。

県選抜の練習は今までになく厳しく辛い練習でしたが、四ヶ月間という短い時間の中で選ばれた十二人、指導者の方々と同じ目標に向かって頑張るといふ経験をして、高校でもバレーボールを続けたいと思いき高田高校に入学しました。そして国民スポーツ大会の強化選手に選んで頂きました。

自主練習の時には、一人一人がこれまで学んできた知識を活かすアトバイスを頂いたり、自分たちでどうしたら上手くいくのかを考えました。チーム練習の時には国体に選ばれる選手たちの意識の高さや上手さを実感しました。一本一本のボールに気持ちが入っている様に感じました。

大会当日、これまで練習してきたことを試合で出すことができましたが、力不足により東海予選を勝ち抜くことができませんでした。とても短い期間ですが、これまでにないくらい悔しかったです。そこでしか学べないことや沢山の刺激を受けることが出来ました。

この経験を活かして、自分のチームに戻った時、同じ様な意識の高さで練習が出来るように、自分からその姿を見せられるように頑張っていました。



地域の お寺さん お宮さん ⑦

塩浜地区には、お寺さんが8寺、お宮さんが3社あります。今シリーズは塩浜の歴史を紐解きながら寄稿していただきました。7回目は「法泉寺」さんです。

真宗高田派 浄輪山 法泉寺

塩浜と楠町との境に架けられた小倉橋から塩浜の町並みを見えます。近くに楠の大木が見えます。法泉寺の境内にそびえ立つ大きな楠の樹齢は不明ですが、その大きさからして数百年と塩浜



に住む人々の暮らしを見てきたことでしょうか。

当山の開基は仁治三年（一二四二）の鈴鹿郡鹿間の天台宗の寺院と伝えられています。

永正三年（一五〇六）に真宗高田派中興の祖である真慧上人の教化を受け、天台宗から真宗高田派に改宗し、真宗高田派法泉寺と称しました。

そして天正十三年（一五八五）に塩浜門徒衆の願いに応えて鈴鹿郡鹿間より塩浜の当地に移ったと伝えられています。

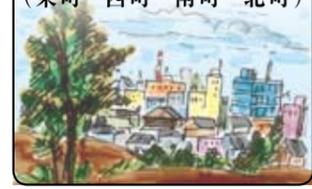


その頃の塩浜 一帯は、織田信長の軍勢による伊勢侵攻の後です。様々なものが焼き討ちされ破壊されたと思われ。記録がないため詳細は不明ですが、復興のため寺院が招請されたのかもしれない。

以来、法泉寺は数百年にわたって地域の皆様によって支えられ、仏法をいただく大切な間法道場として人々の暮らしに寄り添い、共に歩んできています。

散歩ついでに楠の木を探してどうぞお立ち寄りください。

わか町 ⑪
—磯津4町—
(東町・西町・南町・北町)



東町 自治会長
石田 貞彦

磯津4町は昭和40年代初め頃まで漁師町として賑わっておりましたが、時代の変化とともに廃れていき、現在漁師町としての面影が残っているのは、磯津漁港と魚の加工場跡くらいでしょうか。

今はコンビニートの夜景、魚釣り場、初日の出スポットの方が有名になってしまいました。

また、今年8月に開催される四日市花火大会では磯津の養浜海岸が絶好の観覧ポイントになりそうです。

そんな磯津に3年前、2度の中断を経て21年振りに鯨船が復活しました。磯津鯨船は「大正丸」の名前の由来にもなった大正時代に豊漁を祈願する塩崎神社の祭礼として行われました。毎年9月22日23日、磯津町内で行われ、一昨年には大四日市祭



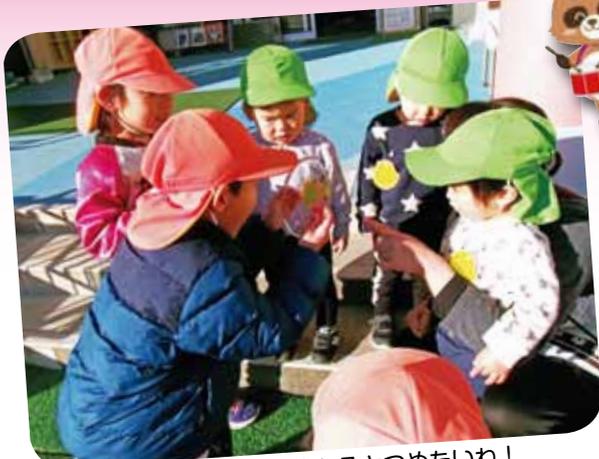
りに、又この2年間、塩浜の文化祭にも出させて頂きました。

私が子どもの時に見た鯨船の町練りなど、男性がメインでしたが復活した現在の鯨船は男性だけではなく女性、子ども、外国籍の方等、一緒になって行っているようで、今後少しずつ若い世代にこの伝統が引き継がれて地域を盛り上げていってほしいと思います。

今後、自治会、保存会ともに力を合わせ、磯津鯨船を通じて磯津に元気を取り戻す一端になればと思っています。

Go! 塩浜っ子

塩浜こども園



氷ができたよ。さわるとつめたいね!



みかんぶろ、みんなの体も心もぽかぽかです。

磯津保育園



絵の本の広場で、ゆったり、たつぷり絵本に触れました。



消防車がかっこいい。大きくなったら消防士さんになる!

海山道保育園



塩浜文化祭に「まとい」をもって勢ぞろい。将来はかっこいい火消しになって塩浜を守るぞ!!



0歳児がお兄ちゃんの乗っている三輪車を見て自分で三輪車に乗りました。驚いたわ!!